



ハチマンタイラーとじゃんけんゲームを楽しむ参加者

会場に響くにぎやかな声

フォレストiクリスマス会

県民の森・ふれあい学習館フォレストiのクリスマス会は昨年12月11日、同館で開かれました。

親子約70人が参加。高さ4mもあるツリーに飾り付けをしたほか、岩鷲護神ハチマンタイラーと一緒にじゃんけんゲームが行われ、会場にはにぎやかな笑い声が響きました。

家族と参加した岩崎めいなちゃん(6)、ゆらちゃん(4)姉妹=五百森=は「ツリーにきれいな飾り付けができて楽しかった」と笑顔を見せました。

今シーズンの無事を願う

八幡平リゾート2スキー場安全祈願祭

八幡平リゾートパノラマスキー場と下倉スキー場の安全祈願祭は昨年12月9日、パノラマスキー場で開かれました。

関係者約50人が出席。神事に続きテープカットが行われ、シーズン中の無事故と盛況を祈願しました。

中嶋悟八幡平リゾート総支配人は「安全に気を配り、幅広い世代の人たちに来てもらいたい。今季も行うギネス世界記録を目指す『世界最大のスキーパレード』では、沿岸の子どもたちを招待したい」と語りました。



スキー場の安全を願いテープカットする関係者

地域の歴史を語り継ぐ証

畑地区振興協議会・秩父宮殿下記念碑設置

安代地区の畑地区振興協議会(関義征会長)は、協働によるまちづくり補助金を利用して、秩父宮殿下休憩記念碑を星沢地内に設置しました。

同石碑は、昭和10年に秩父宮殿下が陸軍の演習でこの地を訪れたとき、立花三太郎さんの家で休憩したことを後世に伝えるため、当時設置された標木を復元したものです。昨年12月11日に行われた除幕式で、立花和男星沢自治会長は「この石碑を見て、若い人たちに地域の歴史を語り継いでいってほしい」と語りました。



記念碑を囲み、当時の歴史や感激を伝える思いを新たにしました

夢追いかける大切さ語る

アンソメットの選手らが大更小で授業

大更小学校(内田孝次校長、児童378人)では昨年12月1日、アンソメット岩手八幡平の丸山富洋監督や選手をゲストティーチャーに招いた授業を行いました。

丸山監督は「サッカーのすばらしさ」と題して講演。「目標を持ち、夢をあきらめないで努力を続けてほしい」と語りました。その後、選手たちがリフティングを披露し子どもたちと交流しました。

工藤峻君(6年)は「夢に向かって努力をして、自分の将来を切り開きたい」と気持ちを新たにしました。



エバンド選手(写真左)と一緒にリフティングに挑戦する子どもたち



子どもたちにきめ細かな指導をする松岡修造さん(写真左)

熱血指導会場を包み込む

松岡修造さんのテニス教室

「NHKスポーツパーク・松岡修造のテニスパーク」(NHK盛岡放送局など主催)は昨年12月3日、市総合運動公園体育館で開催されました。

元プロテニスプレイヤー松岡修造さんが子どもから大人まで約140人を熱血指導。テニス未経験の小学生にはトランポリンや縄跳びなどを使って楽しみながら教えたほか、高校生以上の経験者対象のテニス教室や松岡さんと1球だけ打ち合える「修造にチャレンジ」コーナーなども行われ、会場は熱気に包まれました。

“税”の大切さが分かった

市内2小学校で租税教室

子どもたちに税金を身近に感じてもらう租税教室(盛岡地区租税教育推進協議会主催)が昨年12月6、7の両日、松野小学校(小友福子校長、児童135人)と安代小学校(坂東肖子校長、児童128人)で開かれました。

安代小学校では、6年生22人が市役所税務課の職員から税金の種類や使われ方など、税の役割や仕組みについて学習しました。三浦涼君は「税金がなかったら困るということが分かり、勉強になった」と感想を述べました。



金額に実感を持ってもらうため実際の紙幣と同じ重さの1億円のレプリカが用意され、その重さに驚く安代小の児童

すなっぷギャラリー



「出演者37組が華やかな踊りや歌を披露」(昨年12月11日、西根地区婦人会「演芸会」)



西根第一中学校生徒会が街頭などで集めた募金10万6,882円を寄付(昨年12月9日、市社会福祉協議会へ)



「山賊まつりで行ったバザーの売り上げの一部など6万7,774円を支援金として贈呈」(昨年12月6日、市商工会女性部から市に)



「入場券など協力金10万円は歳末義援金として市社会福祉協議会に寄贈(昨年12月4日、松尾地区婦人会歳末助け合い演芸会)」



「市空手道スポーツ少年団は型の演武など実技で1年間の成果を披露」(昨年12月4日、市スポーツ少年団活動発表会)